



FANDF



シェア3割の産業用トラックボール

○本社所在地：東京都台東区上野3-7-3

○事業概要：情報・通信・医療関連機器

の開発・製造・販売・委託製造

○常時使用する従業員：67名

（2025年8月時点）

○現在の売上高：45.5億円

（2025年8月期）

○法人番号：5010001068320

○Web：<https://www.fandf-hi.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
栗原吉雄

医療・産業用機器部品のハイレベルアッセンブリーメーカーとして持続的成長を

当社は、外資系半導体商社として創業後、2001年に医療・産業機器向けの組込用製品供給を開始。医療機器メーカーの需要を継続的に取り込み、中国と米国の工場など海外展開も推進。医療・産業用トラックボールは世界シェアの30%を保持しています。「健全な製品は健全な会社に宿る」「お客様の成功を支援し社会に貢献する」を理念に、新工場による製造能力の向上を図るほか、超音波技術の活用による超音波診断装置向けASICの開発や、新分野への取り組みとして、魚群探知機関連の組込み製品等の新製品開発に取り組んでおります。米国の関税政策により不確実性が高まる中で、お客様から信頼される企業を目指し、我が国の産業の発展と持続可能な社会の実現に貢献します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2032年に売上高100億円達成を目指し、2025年から中国浙江省へ総合組立工場を建設中。内作比率の向上に於ける競争力を高め、更に2028年に那須塩原へ国内新工場の建設を予定し、医療機器向け組込製品の製造能力倍増を目指します。
- ・中国及び米国子会社の連携強化により、各国の売上を加速。
- ・超音波技術による新製品「魚群探知機用基板」の販路を拡大し、新規顧客層の増大を図ります。

課題

- ・那須塩原工場の建設と稼働に向けた財源の確保と製造体制の確立、並びに新たな販売ルートの開拓
- ・不確実性を増すトランプ関税政策の下での中国工場の稼働率の確保と販売先の開拓
- ・新製品「魚群探知機用基板」の販売ルートの確立
- ・国内工場等事業規模の拡大に伴う運営・管理体制の充実

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・大手医療機器メーカーの工場に近い那須塩原市に3300m²の土地を購入し、新製造工場を建設、効率的な物流と製造を実現する。
- ・トランプ関税により激変する輸出・入環境の変化に対応し、中国製造製品による中国市場への供給、米国製品による米国内への供給等の新たなチャネルづくり等販売ルートの拡大を図る。
- ・東北大学発のベンチャー企業との連携で、高齢化社会に対応する新たな医療用機器の部品等の受託生産を実施。
- ・我が国の魚群探知機の有力メーカーへ新型の超音波発信制御基板を納入し、米国製品が優位を保つ市場の奪還を目指す。

実施体制

- ・社長直轄の「新工場建設・運営プロジェクト」を立ち上げ、医療機器製品向けの品質要求に対応する設備、製造ラインの確立を行う事で、販路の拡充等を図る。
- ・技術者の確保による生産体制の安定化と、地域サプライヤーの育成を図る。
- ・日本本社—中国工場—米国工場間の連携体制の強化。
- ・投資回収計画の確実な実行による安定的な財務体质の維持。

売上高100億円実現に向けた取り組み

当社は、外資系半導体商社として創業後、2001年に医療・産業機器向けに組込用サーバーやユニット製品の製造メーカーへ一転。

その後、医療機器メーカーの需要を継続的に取り込み、その結果としてグローバルへの展開も増え、国内外に於ける事業成長に繋げてきました。

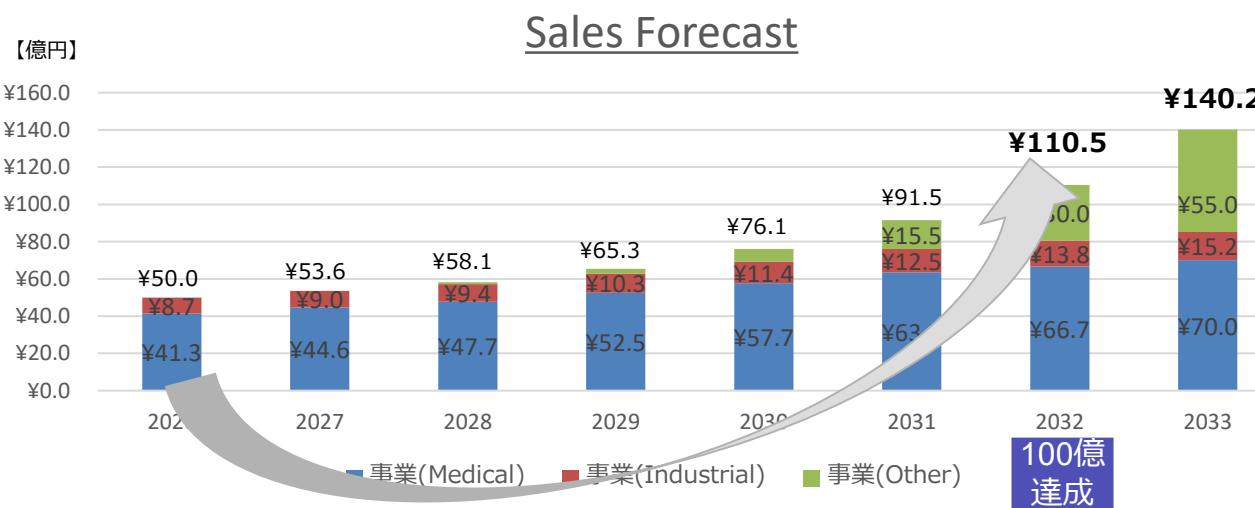
現在は台東区の本社、八王子、横浜、日野に拠点を置くほか、中国（上海・無錫）に事務所と工場を設け、米国（WI・SC）の2拠点に工場と倉庫が稼働中です。また、2026年4月から中国浙江省（平湖）に大型組立工場が稼働し、更に国内に於いては、2028年に栃木県那須塩原市へ新工場建設を目標として、既に新たな土地も確保しております。これらのスキームにより、当社の製品に対する生産能力及び販売競争力を飛躍的に高める予定です。

◎「HLA(High Level Assembly)」への取組

医療機器分野では、言うまでもなく製品の品質を非常に重要視されています。当社では、この様な顧客ニーズを満たしたユニット品の製造(High Level Assembly)を事業化しており、安定供給且つ、高品質の製品を提供し、事業の普及を目指しています。

◎ 最先端超音波技術の応用

当社が保持する医療用画像診断装置向けの超音波技術を応用し、新事業として、魚群探知器向けに新技術を搭載した制御用基板の供給や、超音波を利用した最先端超音波治療器を大手メーカー様と協業開発を進め、世界的な課題となっている病症治療の為の製品を病院へ供給し、社会へ貢献と共に当社の事業成長を進めて参ります。



New Capability Plan (FandF Japan(Nasu-Tochigi))

FandF(Japan) New Facility Plan (2028/Q4)



Land Area : 3,300m²

